

中学生受験対策について

PASSFIND ではどのように対策していくのかをまとめましたので、ご確認ください。

通常授業

<3月～11月>

学校の予習を中心に定期テスト対策を行います。

入試でも必要な内申書の向上と、中学生のカリキュラムを早く終えることによって早期の受験対策に臨みます。

<11月以降～>

カリキュラムが終わった科目次第、受験対策に入ります。まずは苦手単元の復習を基本に、総合問題の問題演習を行っていく予定です。11月末にある定期テスト前だけはテスト対策を行います。

受験対策

<4月～夏期講習まで>

基礎力の徹底

毎週土曜日に入試対策を行います。入試対策専用の授業と教材を使用して、中学1年生から基礎的な内容の復習を行います。問題演習というよりも忘れてしまっている過去の記憶を思い出すことを目標にしております。

入室は15:00～可能です。終わり時間はその日の課題が終わり帰宅になります。

中学1・2年生と3年生の夏前までの復習を終えたいと考えています。

<夏期講習>

4月から行ってきた基礎事項の再復習を行います。生徒対応や茨城統一テストの結果から基礎が身についたと判断できる生徒は問題演習を中心に、まだまだ基礎が抜けていると判断できる生徒は再度基礎的な解説授業を視聴してもらいます。

<9月～11月>

中学3年生の秋以降の復習をしながら、より発展的な問題演習を行います。

問題形式も、一問一答のような簡易的な問題ではなく入試形式に近い問題を学習して、正解する力を養います。

<12月～>

入試の最後の仕上げを行います。

特に追い込みの時期に点数が上がりやすい理科、社会は入試に出やすい問題や傾向の演習を行います。1月の茨城統一テストで志望校のB判定が目標です。

以上が大まかな1年間の流れになります。もちろん生徒の状況によってカリキュラムはその都度修正して一人一人に合った学習ができるように努めます。